

自己評価報告書

平成23年4月5日現在

機関番号： 10101
研究種目： 基盤研究（C）
研究期間： 2008～2011
課題番号： 20530065
研究課題名（和文） 国際商取引における《共通私法》の多層的生成——ウィーン売買条約を基軸として——
研究課題名（英文） Multi-layer Formation of “ius commune” in International Trade: CISG as an Axis
研究代表者
曾野 裕夫（SONO HIROO）
北海道大学・大学院法学研究科・教授
研究者番号： 60272936

研究分野： 民法・国際取引法
科研費の分科・細目： 法学・民事法学
キーワード： ウィーン売買条約，債権法改正，ICC

1. 研究計画の概要

(1) ウィーン売買条約（CISG）の正確な内在的理解に重点を置いた解釈論的検討を，UNIDROIT 国際商事契約原則や日本の債権法改正と比較検討しつつ行う。

(2) CISG は，国際商取引において生成しつつある《共通私法》の基軸的地位を占めており，《共通私法》の文脈に位置づけて理解しなければならないところ，そのような《共通私法》として特に国際商業会議所（ICC）等が制定する「援用可能規則」と「モデル契約書」も取り上げ，CISG の規範内容との比較検討を行う。

2. 研究の進捗状況

(1) CISG の内在的理解

以下の①～③の課題に重点的に取り組んで成果を公表した他，海外で出版される英文注釈書の執筆（「物品保存義務」の規律について担当），国連国際商取引法委員会（UNCITRAL）が CISG に関する裁判例等を分析して公刊する Digest の編集委員に就任しての活動（「危険移転」の規律について担当）を行っている。

①CISG の適用範囲及び規律事項

CISG の発効に伴って，その適用範囲・規律事項の明確化が急務であるが，それに関連して適用範囲に関する種々の誤解の是正，CISG 第5条に関する CISG-AC 意見草案の執筆などを行った。

②契約締結プロセスの規律

CISG における契約締結プロセスの規律及び契約解釈に関する規律を，favor contractus 原理とも関連づけつつ，包括的に研究し，成果を公表した。

③契約責任の体系的構造

CISG に特徴的である，過失責任主義及び履行不能概念の否定のインパクトを解明するため，特に瑕疵担保責任の不存在の構造的要因についての研究成果を刊行しており，続稿として危険負担についても研究を進めている。また，CISG における favor contractus 原理が契約責任に与える影響について研究し，特に日本の債権法改正における議論と比較して，CISG がやや不徹底であることを解明し，口頭報告を行い，その論文は現在印刷中である。

(2) 共通私法の生成

①ICC

ICC における Incoterms の規律を CISG との比較において検討した他，Incoterms の改訂過程について若干の聞き取り調査を行った。平成22年に予定していた ICC 本部の関係者とのインタビューは，関係者の急病のためキャンセルせざるを得なかったが，平成23年度に実施する予定である。

②UNCITRAL

国連国際商取引法委員会（UNCITRAL）の第6作業部会に日本政府代表として継続的に出席する機会を得たことから，UNCITRAL における共通私法の生成過程を直接に観察することができた。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

最終年度となる平成23年度は，おおむねとりまとめの期間とすることができる程度に研究が進んでいる。ICC 関係の検討についてはやや遅れ気味であるが，大幅な遅れというわけではない。

4. 今後の研究の推進方策

(1) CISG の内在的理解

これまでの研究を継続し、残された課題（危険負担等）についての検討に区切りを付けたうえで、とりまとめを行う。

(2) 共通私法の生成

ICC のインストルメントの検討を、Incoterms から広げるとともに、インストルメント作成過程についての実態について関係者からの聞き取りを行ったうえで、とりまとめを行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 37 件)

1. Hiroo Sono, "The Diversity of Favor Contractus: The Impact of the CISG on Japan's Civil Code and its Reform" in Ingeborg Schwenzer & Lisa Spagnolo (eds.), *Toward Uniformity* (forthcoming 2011), 査読無
2. Hiroo Sono, "Japan's Accession to and Implementation of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods (CISG)" *Japanese Yearbook of International Law*, Vol. 53, (2010) pp. 410-437, 査読有
3. 曾野裕夫「CISG の締結手続と国内の実施」*国際私法年報* 12 号 2-27 頁 (2010 年), 査読有
4. 曾野裕夫「ウィーン売買条約 (CISG) における瑕疵担保責任の不存在とその理由」野澤正充【編】『瑕疵担保責任と債務不履行責任』(2009 年) 117-135 頁, 査読無
5. 曾野裕夫「ソフトウェア取引と CISG—その適用と不適用」藤岡康宏【編】『民法理論と企業法制 (早稲田大学 21 世紀 COE 叢書企業社会の変容と法創造第 3 巻)』(2009 年) 137-153 頁, 査読無
6. 曾野裕夫=中村光一=舟橋伸行「ウィーン売買条約 (CISG) の解説(1)~(5・完)」*NBL* 887 号 22-28 頁, 888 号 44-51 頁, 890 号 82-89 頁, 891 号 65-73 頁, 895 号 49-57 頁 (2008 年), 査読無
7. 曾野裕夫「CISG における契約の成立と解釈に関する規律」*民商法雑誌* 138 卷 1 号 1-37 頁 (2008 年 4 月), 査読無

[学会発表] (計 8 件)

1. Hiroo Sono, "The Path to a Uniform Sales Law in Asia: The "Asia Factor" Revisited" The First UNCITRAL Regional Workshop in Asia, Korea University, Seoul, Korea, November 23,

2010

2. Hiroo Sono, "Non-Conformity and Buyer's Duty of Examination and Notification" Uniform Sales Law Conference: The CISG at Its 30 Anniversary, A Conference in Memory of Al Kritzer, University of Belgrade, Belgrade, Serbia, November 12, 2010
3. Hiroo Sono, "The World of CISG: A 'Jus Commune' for International Trade" CISG - The Rule of Law Seminar, Ho Chi Minh City, Vietnam, September 7, 2010
4. Hiroo Sono, "Favor Contractus: the Impact of the CISG on Japan's Civil Code Reform" The Annual MAA Peter Schlechtriem CISG Conference: Towards Uniformity, City University of Hong Kong, March 13, 2010
5. Hiroo Sono, "The Applicability and Non-applicability of the CISG to Software Transactions" International Congress: Contract Law & International Commercial Arbitration, Universidad de La Rioja, Logrono, Spain, November 5 & 6, 2009
6. 曾野裕夫「CISG の締結と法制上の位置づけ」*国際私法学会*, 2009 年 5 月 10 日 (於・学習院大学)
7. 曾野裕夫「ソフトウェア取引と CISG—その適用と不適用」*国際取引法フォーラム*, 2009 年 5 月 9 日 (於・東京大学)

[その他]

ウェブサイト

<http://www.juris.hokudai.ac.jp/~sono/cisg/>